

子育てにやさしく教育につよいまちへの課題

～「平成31年度 生野区運営方針」より一部抜粋

こども・子育て環境

- 安心して子育てできるように、**子育て情報を得やすくし、孤立化しがちな子育て世帯が気軽に相談でき、交流できる機会**を設けるといった支援が必要。
- 次世代を担う若い世代を区内へ呼び込むために、区の内外の人々に**安心して子育てできる環境をアピール**することが必要。
- 絵本読み聞かせの必要性や楽しさを知る機会を提供することにより、**親子のコミュニケーションやこどもの知的好奇心を高める**ことが必要。

こども未来

学校教育環境

- **学校配置を見直して小規模校を解消し、適正な教育環境にすることが必要。**
- **保護者・地域が連携してこどもを育むために、学校に興味・関心を持ってもらうよう、特色ある学校づくり等について情報発信を進める**ことが必要。
- **多様な人材が学校で活躍するために、人材の掘り起こし、資質向上の機会提供やマッチングにつながる情報提供**が必要。
- **小中の交流を活性化し、中学校区単位で児童・生徒のふれあう機会を増やすとともに、その機会を通じて教員間の交流を**図ることが必要。
- 学校における取組への支援と課外での学ぶ機会を確保し、**こどもへの多様な学習機会を増やす**ことが必要。

令和元年度
主な取組

安心して子どもを産み育てることができる環境づくり
子育てが楽しくなるまちづくり

未来を生き抜く力の育成
次世代の学校づくり（学校配置の見直し・「生野の教育」の実現）

未来を生き抜く力の育成
まちの教育力を上げる

いづれも未来

(1 - 1) 子育てが楽しくなるまちづくり

取組の進捗状況

《 子育て応援イベント いくのっ子広場 》

- ・ 7月27日（土）
子ども・子育てプラザ 316名参加
- ・ 8月25日（日）
保育一斉入所説明会併設
生野区役所 381名参加
- ・ 10月24日（木）
生野区役所 347名参加

《 子育てに関する効果的な情報提供 》

- ・ 子ども・子育てプラザの子育て
情報サイト“**いくのde育～の**”を活用
アクセス数：4,058件（10月末）
- ・ 区長による「**いくみん子育て通信**」
（毎月発行）

区予算額 1,518千円



子ども未来

(1 - 1) 子育てが楽しくなるまちづくり

《 生きるチカラを育む 絵本プロジェクト 》

- ・ 3か月児健診・1歳6か月児健診で絵本の読み聞かせを実施
- ・ 「たのしさ発見! 絵本PARK in いくの」
11月30日(土)
514名参加



ワクワクがいっぱい!! "絵本PARK" in いくの

【業績目標】

- ・ 子育て応援イベント いくのっ子広場に参加した養育者について、子どもの養育に参考になったと肯定的に感じた割合：90%以上
- ・ 子育て情報サイト“いくのde育～の”のアクセス数
：年間 10,000件以上

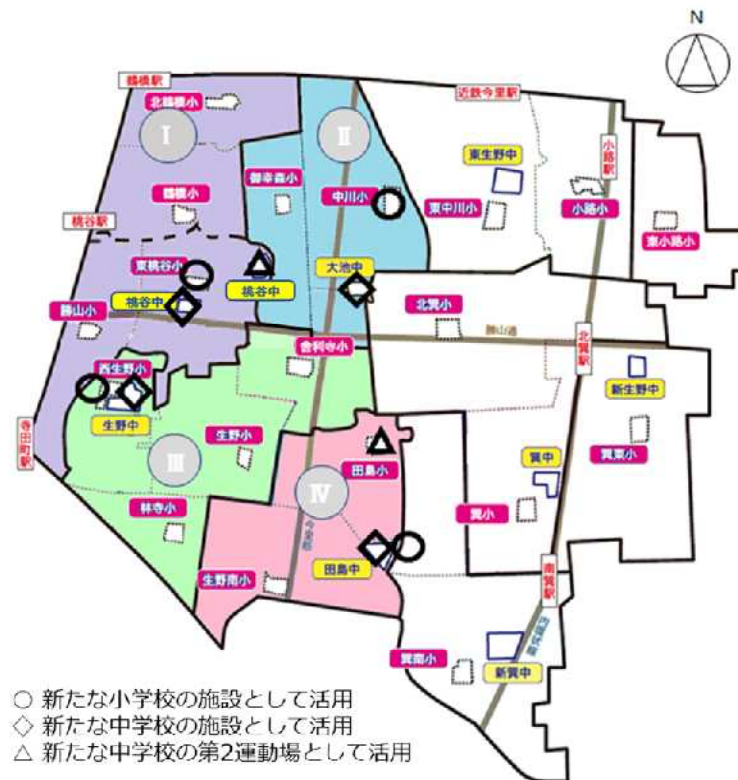
(2 - 1) 次世代の学校づくり (学校配置の見直し)

生野区西部地域学校再編整備計画の推進について

生野区西部地域学校再編の概要

(4中4小 ← 5中12小)

I	○ もと東桃谷小	←	北鶴橋小	鶴橋小	東桃谷小	勝山小
	◇ 桃谷中 (もと勝山中) +	←	もと鶴橋中		もと勝山中	
	△ (もと鶴橋中) (当面第2運動場)					
II	○ もと中川小	←	御幸森小	中川小	舍利寺小 (一部)	
	◇ 大池中	←	大池中			
III	○ もと西生野小	←	林寺小	生野小	西生野小	舍利寺小 (一部)
	◇ 生野中	←	生野中			
IV	○ 新小 (田島中内) +	←	田島小		生野南小	
	△ もと田島小 (第2運動場)	←				
	◇ 田島中		田島中			



いづも未来

【業績目標】

学校設置協議会の設置：4 中学校区



(2 - 1) 次世代の学校づくり (学校配置の見直し)

取組の進捗状況

- 「生野中学校区」の再編
「生野中学校区 学校設置協議会準備会」 平成29年12月発足
「生野中学校区 学校設置協議会」 平成30年11月発足
- 「田島中学校区」の再編
「田島中学校区 将来の学校を考える会」 平成29年12月発足
「田島中学校区 学校整備計画(案)」説明会 平成30年9月22・28日開催
→ 「田島中学校区 学校設置協議会」の発足をめざす。
- 「大池中学校区」の再編
「御幸森小学校・中川小学校 学校設置協議会」 平成31年 3 月発足
- 「桃谷中学校区」の再編
桃谷中学校開校 平成31年 4 月
「桃谷中学校区の学校再編についての意見交換会」 令和元年 8 月19日開催
→ 「学校設置協議会準備会」の設置に向け、各小学校区・PTAにて説明、意見交換を進める。

(2 - 1) 次世代の学校づくり (学校配置の見直し)

区予算額 17,272千円

学校跡地を核としたまちづくりの取組みについて

生野区西部地域学校再編整備計画の進捗に合わせて、学校跡地を核としたまちの活性化に寄与する跡地活用方法を検討する。

【今後の方向性】

このまちづくり構想を基に、小学校ごとの校舎と校地の具体的な活用・運営計画を策定することとしており、その策定にあたって小学校ごとに「学校跡地検討会議」を設置し、地域・事業者ニーズ等のご意見をお聞きしながら、みんなで作る持続可能な「みんなの学校」をめざして検討。

生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想
まちぐるみ教育とみんなの学校で実現する再生ヴィジョン
～概要版～



(2 - 1) 次世代の学校づくり (学校配置の見直し)

取組の進捗状況

- 「『再生』まちづくり講演会 - 生野の未来を考えよう - 」開催
平成30年 7 月～平成30年12月開催 (全 6 回)
- 区民ニーズ調査アンケート実施
平成30年11月～12月実施
- 「生野区リノベーションまちづくりフォーラム」開催
平成31年 2 月開催
- 「生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想」 策定
令和元年 6 月策定
- 小学校区ごとの「学校跡地検討会議」
「生野小学校 学校跡地検討会議」 令和元年 7 月発足
「御幸森小学校 学校跡地検討会議」 令和元年 8 月発足
- 「みんなの学校会議」開催
令和元年9月開催
- 「参画エントリー会議」開催
令和元年11月開催

(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

くらしの安全・安心部会関連：(4-2)貧困の連鎖を断ち切るための支援と同取組

区予算額 5,283千円

取組の進捗状況

● 生きるチカラを育む課外授業「みらい塾」 こどもの貧困対策関連の取組

当該中学校に在籍する生徒（学年は問わないとする）を対象に、民間事業者等を活用した大学生等による悩み相談と課外授業を行うことで、**基礎学力の向上と自己肯定感の醸成**をはかり、「**自ら学ぶ力**」の定着をめざす。

- ・ 大池中学校 （毎週月・木曜日）
- ・ 東生野中学校（毎週火・金曜日）
- ・ 田島中学校 （毎週火・金曜日）
- ・ 新生野中学校（毎週火・木曜日）

英語・数学・国語

18 30～19 40

19 45～20 55

時間帯の と はどちらかを選択



こども未来

(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

【業績目標】

参加者に対し、事業実施前と後にアンケートを行い、「1日にどれくらいの時間、家庭学習をしていますか」という設問について、「30分より少ない」「全くしない」と答える生徒を半減させる。

課題など

- ・「自ら学ぶ力」の定着、基礎学力の向上が必要。

【今後の方向性】

学習習慣を定着させるため、「勉強できる環境」を整えていく。

また、単に学習の指導をするだけでなく、生徒の日常や進路の悩み等の相談を受けながら、その生徒にあった指導を行うよう、塾事業者と連携しながら、「自ら学ぶ力」が身に付くよう取り組みを進める。

(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

区予算額 154千円

取組の進捗状況

● 民間事業者等を活用した課外授業「いくの塾」

生野区に在住し、大阪市立中学校に在籍する生徒（学年は問わないとする）を対象に、**学習習慣の定着、基礎学力の向上**を目標とする。

- | | | |
|------------|---------|----------------------------|
| ・ 生野中学校 | 毎週火・金曜日 | } 英語・数学 |
| ・ 巽中学校 | 毎週水・金曜日 | |
| ・ 生野区民センター | 毎週月・木曜日 | |
| | | 18:30～19:40 19:45～20:55 |
| | | 時間帯の と はどちらかを選択 |



いづも未来

(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

【業績目標】

受講者に対し、事業実施前と後にアンケートを行い、「1日にどれくらいの時間、家庭学習をしていますか」という設問について、「全くしない」と答える生徒を半減させる。

【今後の方向性】

引き続き、事業を継続して実施していく中で、教室内で自習スペースを設け、授業の前後に自習ができる等、一人で勉強する姿勢が身に付くような取り組みを行うよう、塾事業者と連携しながら、学習習慣の定着と基礎学力の向上を図っていく。



(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

取組の進捗状況

区予算額 1,574千円

● 学び支援事業

児童の学力状況の把握および自主学習習慣の確立や健康・体力の保持増進を目的に、**模擬検定等の受験を学校が活用できる機会を提供する。**

- ・ 模擬検定等の外部試験 15小学校にて実施予定 (年度末見込み)
実施済み 4 校 (10月末時点)

【業績目標】

事業実施後のアンケートにおいて、学習意欲を問う設問について肯定的な回答をする児童の割合を70%以上とする。

課題など

模擬検定の活用が、児童の学習意欲の向上につながるよう、取組にあたり実施校との連携を進めていく必要がある。

【今後の方向性】

実施校における効果的な活用事例を共有し、より学習意欲が高まる取組となることをめざす。

(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

くらしの安全・安心部会関連：(4-2)貧困の連鎖を断ち切るための支援と同取組

取組の進捗状況

区予算額 1,982千円

● 生きるチカラまなびサポート事業 こどもの貧困対策関連の取組

「キャリア教育」や「性・生教育」を支援する「生きるチカラまなびサポーター」の登録制度を構築し、学校の要請に応じて講師を派遣する。

- ・登録講師 17名 (10月末時点)
- ・小学校での実施 3回 (2学期)
- ・中学校での実施 5回 (1学期、2学期)
- ・教職員対象の講演会 1回 (6月24日開催・43名参加)
- ・アドバイザー会議 2回
- ・今後の実施予定 12校17回 (年度末)



【プログラミング授業】



【教職員対象の講演会】

いづれも未来

(2 - 2) 次世代の学校づくり (「生野の教育」の実現)

【業績目標】

事業終了時のアンケートにて、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という設問について否定的な回答をした受講者の割合：8.0%未満

課題など

多様な経験をとoshi、児童生徒が自分の将来を前向きに考える環境づくりを促進できるよう、さらに取組の拡がりをめざす必要がある。

【今後の方向性】

・登録講師の確保

アドバイザーと学校から得た講師情報の共有化を図り、幅広い人材確保に努める。

・各学校での取組の拡がりをめざす

登録講師数を増やし、より学校のニーズに応えられるようにする。また、定期的に周知する。



(2 - 3) 次世代の学校づくり (学校・教育コミュニティ支援)

取組の進捗状況

区担当教育次長予算額 2,394千円

● 小・中学校交流かけはし事業

児童生徒が中学校生活を楽しく過ごすためにスムーズな移行ができるよう、区が支援を行い、各中学校区における小中連携の取組をさらに充実させ、進学先の中学校の生徒や同じ中学校へ進学する他校の児童との交流促進を図る。

- ・ 小中学校の交流 (部活動・授業体験等)
4 中学校区 (10月末時点)
＜ 年度末見込み : 8 中学校区 ＞
- ・ 年間を通じた交流 (英語授業)
東生野中学校区 : 2 回 (10月末時点)
＜ 年度末見込み : 5 回 ＞



【部活動体験】



【年間を通じた交流(英語授業)】

【業績目標】

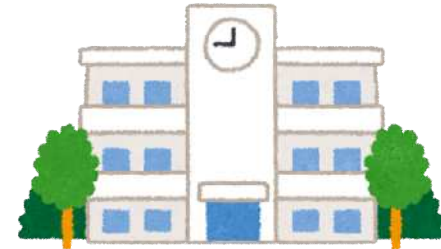
異なる年齢や学校の児童や生徒と交流できて
よかったと感じた参加者の割合 : 80%以上

(2 - 4) 「ニア・イズ・ベター」に基づく分権型教育行政の効果的な推進

取組の進捗状況

● 分権型教育行政の効果的な推進

・ 区長を教育委員会事務局における区担当教育次長として位置付け分権型教育行政を進めることにより、区内の教育行政を推進する。



- ・ 教育行政連絡会 1 回（10月末時点）＜年度末見込み：2 回＞
- ・ 教育保育連絡会 1 回（10月末時点）＜年度末見込み：1 回＞

【業績目標】

- ・ 自校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校長の割合：40%
- ・ 委員を務める学校において、学校の実情に応じた教育が行われ教育内容がより充実したと感じる区内小・中学校の学校協議会委員の割合：40%
- ・ 学校、地域の実情に応じた教育が行われたと感じる「保護者・区民等の参画のための会議」の委員の割合：40%

(3) まちの教育力を上げる

取組の進捗状況

区予算額 1,168千円

区内 19 校下に生涯学習ルームを開設することにより、区民の生涯学習活動を支援するとともに、**学びの成果を地域行事等で還元できるように支援し、地域における多世代交流を促進する。**

- ・区生涯学習ルームフェスティバルの開催 1 回 (3月1日開催予定)
- ・生涯学習ルームの開設 19 校下
- ・生涯学習推進員連絡会等の開催 7 回 (10月末時点)



(3) まちの教育力を上げる

【業績目標】

- ・区の生涯学習事業で学んだ内容を、地域行事等で活かせる機会があると答えた事業参加者の割合：60%以上

課題など

- ・生涯学習事業への参加者が減少傾向にある。また、幅広い年代の方に参加してもらいたい。

【今後の方向性】

区広報紙等により生涯学習事業を周知する。
引き続き区民の生涯学習活動を支援し、生涯学習推進員と連携して、**学びの成果を地域行事等で還元できるように支援し、地域における多世代交流を促進する。**





いゝろどり豊かな魅力のあるまち への課題

～「平成31年度 生野区運営方針」より一部抜粋

- 区の人口減少に歯止めをかけ、持続可能なまちとなるためには、主に**若年・子育て層の移住・定住を促進**させることが必要。
- 区の重要な地域資源のひとつである**製造業事業所数の減少を防ぐ**ためには、次世代の育成や住工混在問題の解決のため、**ものづくり企業の重要性を周知し、区民の理解を図る**ことが必要。
- 区の**空家を地域資源として、建物所有者による自主的な利活用**が進むよう、地域主体の取組への支援が必要。
- 区に存在する多様な地域資源を発掘し、魅力あるものに高めていくとともに、**区民のまちに対する愛着や誇りが高まる**ような取組や区の魅力・特色を区の内外に向けて効果的に情報発信し、**区に訪れ、住んでもらえるよう戦略的なプロモーション**が必要。
- **コミュニティ豊かで住民主体の自律的な地域運営が行われる**ために、地域コミュニティの活性化、市民活動の担い手の確保、マルチパートナーシップの拡充、地域の状況に応じたきめ細かな支援等が必要。

まち未来

令和元年度
主な取組

地域資源から魅力資源へ
ものづくりの伝統を守り、受け継がれるために
空き家の利活用による新たな魅力づくり

生野区シティプロモーション
「生野の魅力」の発掘・浸透
区民のわがまち意識を育てる

地域社会における住民自治の拡充
地域活動協議会への支援 等

まち
未来

(1 - 1) ものづくりの伝統を守り、受け継がれるために

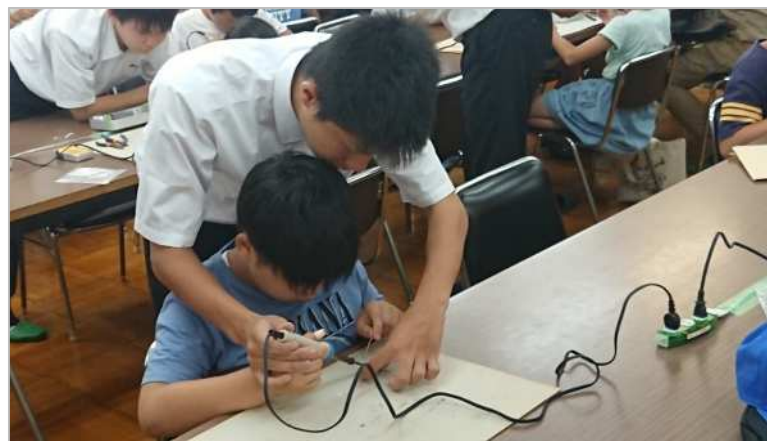
取組の進捗状況

区予算額 8,889千円

- ・ **ものづくり教室** 1回(7月30日開催 37名参加)
- ・ **こども工作教室** 1回(3月15日開催予定)
- ・ **芸術文化に親しむワークショップ**
7回(11月、12月開催予定)
- ・ **生野区プレイスメイキング事業の実施** 1回(3月1日開催予定)
- ・ **「ものづくり百景」の追加作成** 23社(年度末見込)
- ・ **「ものづくり百景」を活用したPR** 随時
- ・ **区HPのものづくりページのビュー数** 1,451件(10月末時点)



ものづくり教室(技術伝承)



ものづくり教室(電気科)

(1 - 1) ものづくりの伝統を守り、受け継がれるために

【業績目標】

- ・ 見学会などへの参加者数：100人以上
- ・ 区HPのものづくりページのビュー数：2,400件 / 年

課題など

- ・ 少子高齢化、若者のものづくり離れにより**後継者不足**、技術の継承が困難な状況である
- ・ 地域活性の観点からも、住民の**ものづくり企業への理解度促進**、**ものづくりの担い手確保**が困難な状況である

【今後の方向性】

小中高校生に向けてのイベントやワークショップを通じて、**ものづくりの楽しさを知ってもらう**きっかけづくりを行う。

また、「生野ものづくり百景」を使って、区内外へ「**ものづくりのまち生野**」を発信していく。



(1 - 2) 空き家の利活用による新たな魅力づくり

取組の進捗状況（10月末時点）

区予算額 541千円



空き家の活用事例の紹介（7回）



地域が主体となった空家対策会議（3回）

【業績目標】

空き家利活用に関する取り組みが進んでいると感じる区民の割合：30%
＊

まち未来

(1 - 2) 空き家の利活用による新たな魅力づくり

課題など

空き家の増加は、コミュニティの衰退やまちの魅力の低下など、地域の課題となっている。

一方、長屋については住みたい方も多く人気があるが、不動産市場には出てこない。

参考データ（平成25年住宅・土地統計調査）

- | | | | |
|------|---------------|----------|---------------|
| ・空家率 | 22.4%（3位/24区） | ・その他の住宅 | 6,920（1位/24区） |
| ・長屋率 | 16.7%（1位/24区） | ・長屋の木造比率 | 16.1%（1位/24区） |
- その他の住宅とは、二次的・賃貸用・売却用以外の空き家を指す。

【今後の方向性】

引き続き、**新たな空き家のオーナーを発掘しながら、空き家活用プロジェクトへ繋げるとともに、地域と連携してまちづくりの一環として空き家等を活用した地域活性化に取り組む。**